

カスパーゼ-10

Cat. No. EXWM-4239

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要

カスパーゼ-10は、カスパーゼ-2 (EC 3.4.22.55)、カスパーゼ-8 (EC 3.4.22.61)、およびカスパーゼ-9 (EC 3.4.22.62) と同様に、イニシエーターカスパーゼです。カスパーゼ-8と同様に、カスパーゼ-10はN末端プロドメインに2つのタンデムデスエフェクタードメイン (DED) を含んでおり、これらはプロカスパーゼの活性化に関与しています。この酵素は、NF-κB生存シグナル伝達を損なわせ、細胞死プロセスを開始するRIPや、細胞の丸みやアポトーシス小体形成などのアポトーシスの形態的特徴に関連するPAK2など、カスパーゼ-8と共通の多くの重複基質を持っています。Bcl2タンパク質であるBidは、カスパーゼ-3 (EC 3.4.22.56)、カスパーゼ-8、カスパーゼ-10によってLys-Gln-Thr-Asp⁺で切断され、プロアポトーシスのp15フラグメントを生成します。p15フラグメントはN-ミリスチル化され、ミトコンドリアからのシトクロムcの放出を促進します（これにより、内因性アポトーシス経路が開始されます）。Bidは、カスパーゼ-10およびグランザイムBによってさらに切断されますが、カスパーゼ-3やカスパーゼ-8によってIle-Glu-Thr-Asp⁺で切断されず、N-ミリスチル化されていないp13フラグメントを生成します。ペプチダーゼファミリーC14に属します。

別名

FLICE2、Mch4; CASP-10; ICE⁺アポトーシスプロテアーゼ4; アポトーシスプロテアーゼMch-4; FAS関連死因ドメインタンパク質インターロイキン-1β⁺換酵素2

製品情報

形態

液体または凍結乾燥粉末

EC番号

EC 3.4.22.63

CAS登録番号

189088-85-5

反応

P1の位置におけるAsp⁺の適切な要件があり、好ましい切断配列はLeu-Gln-Thr-Asp⁺Glyです。

備考

このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。お客様の仕様に合わせてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法

短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。